

作成日 2023年 9月 25日

# 安全データシート

## 1. 化学品および会社情報

化学品の名称	ヨウ化カリウム Potassium iodide
製品名	ヨウ化カリウム
製品コード	F-016538
SDS整理番号	ZC23028-01
会社名称	善ケミカル株式会社
住所	東京都台東区台東2-30-2 善ビル3階
電話番号	03-3839-5861
FAX番号	03-3839-5877
緊急連絡電話番号	03-3839-5861
推奨用途および使用上の制限	写真薬、有機合成原料、分析用試薬、オキシダント測定用、飼料添加物

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

物理化学的危険性	該当区分なし
健康に対する有害性	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2B
生殖毒性	区分1B 追加区分: 授乳に対する、または授乳を介した影響
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1(甲状腺)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(皮膚、甲状腺、全身毒性)
環境に対する有害性	該当区分なし

注) 上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については「分類対象外」、「区分に該当しない」または「分類できない」に該当する。

### GHSラベル要素

#### 絵表示またはシンボル



#### 注意喚起語

危険

#### 危険有害性情報

H320 吸入すると生命に危険  
H360 生殖能または胎児への悪影響のおそれ  
H362 授乳中の子に害を及ぼすおそれ  
H370 甲状腺の障害  
H372 長期にわたる、または反復ばく露による皮膚、甲状腺、全身毒性の障害

#### 注意書き

##### 【安全対策】

P201 使用前に取扱説明書を入手すること。  
P202 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
P263 妊娠中および授乳期中は接触を避けること。  
P264 取扱後は手や顔をよく洗うこと。  
P270 この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。  
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

##### 【応急措置】

P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
P308+P313 ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当を受けること。  
P314 気分が悪いときは、医師の診察/手当を受けること。  
P337+P313 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当を受けること。

##### 【保管】

P405 施錠して保管すること。

##### 【廃棄】

P501 内容物、容器の廃棄を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

### 3. 組成および成分情報

単一物質・混合物の区別 化学名または一般名	単一物質 ヨウ化カリウム Potassium iodide
慣用名または別名 CAS番号 分子式 (分子量)	カリウムヨード、ヨードカリウム、よう化カリウム、ヨードカリ 他 7681-11-0 KI (166.003)

構造式または示性式

KI

成分および濃度または濃度範囲  
官報公示整理番号

99.00%以上

化審法： (1)-439  
安衛法： 公表化学物質

### 4. 応急措置

吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	医師に連絡すること。 皮膚を多量の水と石けんで十分に洗うこと。 ただちに医師に連絡すること。
眼に入った場合	水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 ただちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 ただちに医師に連絡すること。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	適切な保護具を着用する。

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤 使ってはならない消火剤 火災時の特有の危険有害性	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類 火災が周辺に広がるおそれがあるため、直接の棒状注水を避けること。 不燃性でありそれ自身は燃えないが当該製品は分子中にハロゲン(I)を含有しているため火災時に刺激性もしくは有毒なヒューム(またはガス)を放出する。
特有の消火方法	周辺火災の際は危険でなければ火災区域から容器を移動すること。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。
消火活動を行う者の特別な保護具および予防措置	消火作業の際は、適切な保護具や耐火服を着用すること。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置	ただちに、すべての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離すること。 関係者以外の立入りを禁止すること。 密閉された場所に立入る前に換気すること。 すべての着火源を取り除くこと。
環境に対する注意事項 封じ込めおよび浄化の方法および機材	環境中に放出してはならない。 漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理すること。 封じ込めおよび浄化方法・機材 水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐこと。 二次災害の防止策 プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐこと。

### 7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い	
技術的対策	『8.ばく露防止および保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用すること。
安全取扱注意事項	取扱後は眼をよく洗うこと。 使用前に取扱説明書入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 適切な保護具を着用すること。 粉じん、ガス、ミスト、蒸気、スプレーなどを吸入しないこと。 取扱後は手をよく洗うこと。

<p>接触回避</p> <p>衛生対策</p> <p>保管</p> <p>安全な保管条件</p> <p>安全な容器包装材料</p>	<p>この製品を使用するときには飲食または喫煙をしないこと。 アルカリ金属、アンモニア、過酸化水素、五フッ化臭素、三フッ化臭素、三フッ化塩素、オゾン、過塩素酸フッ素、強酸化剤、塩基、水、ジアゾ化合物</p> <p>この製品を使用するときには飲食または喫煙をしないこと。 取扱後は手や顔など、露出した部分をよく洗い、うがいをすること。</p> <p>施錠して保管すること。 保管場所には危険・有害物を貯蔵し、または取り扱うために必要な照明および換気の設備を設けること。直射日光を避け、冷暗所に保管すること。</p> <p>破損や漏れの無い密閉可能な容器を使用すること。</p>
---	---

## 8. ばく露防止および保護措置

<p>管理濃度</p> <p>許容濃度</p> <p>設備対策</p> <p>保護具</p> <p>呼吸用保護具</p> <p>手の保護具</p> <p>眼、顔面の保護具</p> <p>皮膚および身体の保護具</p>	<p>未設定</p> <p>未設定</p> <p>TLV-TWA: 0.01ppm (0.1 mg/m<sup>3</sup>) (ヨウ素およびヨウ化物)</p> <p>粉じんが発生する作業所においては、必ず密閉された装置、機器または局所換気装置を使用すること。</p> <p>粉じんが発生する場合、必要に応じて保護マスクや呼吸用保護具を着用すること。</p> <p>手に接触するおそれがある場合、保護手袋を着用すること。</p> <p>眼に入るおそれがある場合、保護眼鏡やゴーグルを着用すること。</p> <p>必要に応じて保護衣、保護エプロン等を着用すること。</p>
--	--

## 9. 物理的および化学的性質

<p>物理状態</p> <p>形状</p> <p>色</p> <p>臭い</p> <p>臭いの閾値</p> <p>融点/凝固点</p> <p>沸点または初留点および沸点範囲</p> <p>可燃性</p> <p>爆発下限界および爆発上限界/可燃限界</p> <p>引火点</p> <p>自然発火点</p> <p>分解温度</p> <p>pH</p> <p>粘性率</p> <p>動粘性率</p> <p>溶解度</p> <p>[水]</p> <p>[その他の溶剤]</p> <p>n-オクタノール/水分配係数(log値)</p> <p>蒸気圧</p> <p>密度および/または相対密度(g/ml)</p> <p>相対ガス密度</p> <p>粒子特性</p>	<p>固体</p> <p>結晶 ~ 粉末</p> <p>白色</p> <p>無臭</p> <p>データなし</p> <p>681 °C</p> <p>1,323°C</p> <p>データなし</p> <p>データなし</p> <p>データなし</p> <p>データなし</p> <p>データなし</p> <p>データなし</p> <p>6.0 - 8.0 (50g/L, 25°C)</p> <p>データなし</p> <p>データなし</p> <p>148 g/100 g (25°C)</p> <p>アルコール: 88 g/100 cc (25°C)、アセトン: 1.31 g/100 cc (25°C)</p> <p>データなし</p> <p>1 mmHg (745°C)</p> <p>3.12 g/cm<sup>3</sup></p> <p>データなし</p> <p>データなし</p>
--	---

## 10. 安定性および反応性

<p>反応性</p> <p>化学的安定性</p> <p>危険有害反応可能性</p> <p>避けるべき条件</p> <p>混触危険物質</p> <p>危険有害な分解生成物</p>	<p>水に易溶。</p> <p>光反応性。吸湿性。</p> <p>アルカリ金属、アンモニア、過酸化水素、五フッ化臭素、三フッ化臭素、三フッ化塩素、オゾン、過塩素酸フッ素との接触で爆発の危険性がある。 フッ素、強酸化剤、塩基、水、ジアゾ化合物と危険な反応を生じる。 この物質の溶液は過塩素酸フッ素との接触で爆発を生じるおそれがある。</p> <p>加熱と燃焼</p> <p>アルカリ金属、アンモニア、過酸化水素、五フッ化臭素、三フッ化臭素、三フッ化塩素、オゾン、過塩素酸フッ素、強酸化剤、塩基、水、ジアゾ化合物</p> <p>ハロゲン化物</p>
--	--

## 11. 有害性情報

<p>急性毒性</p> <p>経口</p> <p>経皮</p> <p>吸入: ガス</p>	<p>データ不足のため分類できない。</p> <p>データ不足のため分類できない。</p> <p>GHSの定義における固体である。</p>
---	---

吸入: 蒸気	GHSの定義における固体である。
吸入: 粉じん および ミスト	データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性/刺激性	データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	ウサギを用いた試験において、本物質（3%溶液）を角膜に適用したところわずかな刺激性がみられたとの報告がある。
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
発がん性	データ不足のため分類できない。
生殖毒性	ヒトでヨウ素の過剰摂取により、甲状腺機能障害をきたし、二次的影響として月経異常など性機影響が生じる可能性があること、吸収されたヨウ素が母乳中に排泄されるとの知見がある。母乳を介して新生児に移行したヨウ素が乳幼児の発達障害を及ぼす可能性が考えられる。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ヨードチンキ（ヨウ素をエタノールに溶かしたもの）の経口摂取による18例の自殺例があり、そのヨードチンキの濃度は、1,200~9,500 mg (17~120 mg/kg 体重)で、摂取後48時間以内に死亡が認められている他、本物質溶液（ヨードとして15 g）で自殺を試みたが回復したとの報告もある。また、ヨードの急性過剰摂取は、一過性の甲状腺ホルモンの産生を低下させるとの記載がある。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	薬物治療に本物質を経口摂取した例でヨウ素疹がみられている。また、発熱がみられた事例が報告されている。また、本物質の過剰な経口ばく露により、甲状腺機能低下がみられ、一方、甲状腺機能亢進を示す事例も報告されている。このほか、長期連用による重大な副作用として、ヨウ素中毒として皮膚や甲状腺の病変のほか、喉頭炎、気管支炎、声門浮腫、喘息発作、唾液腺浮腫、耳下腺炎、胃炎、ヨウ素悪液質として、全身衰弱、心悸亢進、抑うつ、不眠、神経過敏などが記載されている。
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。

## 12. 環境影響情報

生態毒性	
魚類	ニジマス: の96時間LC50 = 896 mg/L (AQUIRE (2011))
甲殻類	データなし
藻類	データなし
残留性・分解性	データなし
生物蓄積性(BCF)	データなし
土壤中の移動性	
n-オクタノール・水分配係数	データなし
土壤吸着係数(Koc)	データなし
ヘンリー定数(PaM3/mol)	データなし
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理すること。
汚染容器および包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、またはリサイクルに関する情報	容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。  空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	該当なし
国連分類	国連の分類基準に該当せず。
海洋汚染物質	非該当
MARPOL73/78附属書II	非該当
およびIBCコードによるばら積み輸送される液体物質	
国内規制	
陸上規制情報	消防法、道路法の規制に従うこと。
海上規制情報	船舶安全法の規制に従うこと。
航空規制情報	航空法の規制に従うこと。
輸送または輸送手段に関する特別な安全対策	道路法、消防法の規定によるイエローカード携行の対象物

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行うこと。

重量物を上積みしないこと。

緊急時応急措置指針番号

-

## 15. 適用法令

化審法  
労働安全衛生法

製造輸入量の届出を要しない物質  
名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

海洋汚染防止法

有害液体物質(Y類同等の物質)(環境省告示第148号第2号)

## 16. その他の情報

主な参考文献

安全データシート "ヨウ化カリウム", 職場の安全サイト 2019/03/15 改訂版

独立行政法人製品評価技術基盤機構 NITE統合版GHS分類結果(2015年更新版)

webデータベース "ezADVANCE"(2023/09/22 アクセス)

ウェブサイト "PubChem"(2022/09/22 アクセス)

安全データシート "Potassium iodide", 東京化成工業株式会社  
2022/03/20 改訂版

SAFETY DATA SHEET (Potassium iodide), Cefa Cilinas  
Biotics Pvt. LTD

### 記載内容の取扱いについて

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。注意事項は通常の見取りを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

改訂履歴 2023年 9月 25日 作成